

キャラクター名 プレイヤー名

ミー・ヴィア&アイ・ヴィア/有我 愛未 (ありが まなみ)

シンドローム	キュマイラ	ワークス	レネゲイドビーイングA	カヴァー	小学生
	キュマイラ		年齢	外見10歳前後	性別
オプション					
覚醒	無知	衝動	破壊	初期侵食率	36 %
出自	地球外生命体	経験	組織への所属	邂逅	師匠 (天乃 創一朗)

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	37
肉体	6	1	1			8	行動値	3
感覚	0	0	1			1	(非装備時)	3
精神	0	0	1			1	戦闘移動	8
社会	2	0	0			2	全力移動	16

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	4		射撃	1		RC			交渉		
回避	1		知覚			意志	2	1	調達		
運転:			芸術:			知識:			情報: UGN	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
完全獣化+破壊の爪	白兵	11r+4	1	9		侵蝕の獣魔の巣を組み合わせない場合、判定ダイス-1個(変異種の効果による)
破壊令 (オーダー)	白兵	10r+4	1	23		完全獣化+破壊の爪後、コンセ+獣の力/判定ダイス-1/侵蝕4 (+9)
@100-	白兵	14r+4	1	26		ダイス+3/エフェクトLv+1
虚空より出でし者 (キメラ)	白兵	11r+4	1	33		+獣魔の巣/侵蝕8/1シナリオ3回

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品		合計装甲:	0	合計回避:	0
思い出の一品					
コネ: 要人への貸し					
ロイス		最大財産P:	4	残り財産P:	1
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費	
変異種 (キュマイラ)	P	N			
天乃 創一朗	P 庇護	N 隔意			
昇華/シナリオロイス: オーヴァード風邪	P 好奇心	N 敵愾心			
金 白白	P 連帯感	N 憐憫			
キング	P 友情	N 憐憫			
昇華/マッドクレイジー	P 好奇心	N 無関心			
久木 官	P 尽力	N 憐憫			

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果:	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果:	コスト分のHPで復活							
ヒューマンズネイバー	1	-	常時	至近	自身	-	RB	
効果:	衝動判定のダイス+Lv個/侵蝕率基本値+5							
オリジン: レジェンド	1	2	マイナー	至近	自身	-	RB	
効果:	シーン中、【精神】を使用した判定の達成値+[Lv*2]							
コンセントレイト: キュマイラ	3	2	メジャー	-	-	シンドローム	-	
効果:	C値-Lv (下限値7)							
完全獣化	1	6	マイナー	至近	自身	-	-	
効果:	シーン中、【肉体】を使用した判定ダイス+[Lv+2]個/エフェクト効果持続中、素手以外のアイテムの装備・使用不可							
破壊の爪	1	3	マイナー	至近	自身	-	-	
効果:	シーン中、種別:白兵/技能:<白兵>/命中:0/攻撃力:+[Lv+8]/G値:1/射程:至近 に素手のデータを変更							
ハンティングスタイル	1	1	マイナー	至近	自身	-	-	
効果:	戦闘移動を行う/離脱を行える/移動中に他エンゲージに接触しても移動を終える必要はなく、封鎖の影響も受けない/1シーンLv回							
獣の力	7	2	メジャー	武器	単体	白兵	-	
効果:	攻撃力+[Lv*2]							
獣魔の巣	5	4	メジャー	-	-	白兵	Dロイス	
効果:	攻撃力+[Lv*2]/攻撃に対するドッジのC値+1/1シナリオ3回							
フルパワーアタック	5	4	セットアップ	至近	自身	白兵	80%	
効果:	ラウンド中、自分の攻撃の攻撃力+[Lv*5]/ラウンド中の行動値は0になる							
眠れる遺伝子	1	-	常時	至近	自身	-	-	
効果:	あなたの内側に眠っている獣の遺伝子を覚醒させることで、常に動物の姿で日常を過ごすエフェクト/見抜く場合は<知覚>判定で対決							
効果:								
効果:								
効果:								

「あたしはアイとふたりでひとりなの。分かれるなんてかんがえられないヨ♪」
「我等は二つで一つの存在。疑う余地など一片もない」

少女「ミー・ヴィア」は非常に能天気で、あまり深くは考えず、いつも上機嫌。それは敵を前にしても変わらず、どこか異質なものを感じさせる。六つ目の竜「アイ・ヴィア」は思考することを好み、冷静にして冷感。敵対する者を容赦なく引き裂くが、それは有機的な感情によるものではない。

【概要】
「あたしたちはね、うちゅーから来たの。アイがそう言った」
「我等はあの空の向こう——黒き宙から流星となり、地球に降り立ったのだ。あれから幾何の時が過ぎただろうか」

自称「宇宙から来た」という、奇妙なレネゲイドビーイング。
その生態は実に奇妙で、少女の姿をした独立型のレネゲイドビーイング「ミー・ヴィア」に、六つ目の竜のような姿をした協力型のレネゲイドビーイング「アイ・ヴィア」が寄生している…と本人たちは言っている。ただし、「ミー」の姿で「アイ」が喋ることもあれば、「アイ」の姿で「ミー」が喋ることも多く、境界線は曖昧である。二人が本当に別個体なのかどうかは疑わしい。
少なくとも、片方だけが動いているように見えても、見聞きしたものを全て共有していることは確かのような。どうやら、彼女らは人々が思い描くという「キメラ」(キュマイラではない)を起源としているらしいが…

【経緯】
「UGNはねー、いいところだったよー。ぬけてきた理由はー……なんだっけ？」